

Hopa - Artvin - Türkiye
(Hemşin)

<一口毛>

- Hemsinの踊り、一応トルコに分類した。

アルミニア系の人たちと言われている

2026.8.26 書直し

2026.9.22 加什声等

Deni

Hopa-Artvin-Türkiye

I. R L, R L, ...
(入場) 頭上で拍手
(胸前)

①2、フリーで、
相手のリズム
♩ ♩, ♩ ♩,
♩ ♩, ♩ ♩,
♩ ♩, ♩ ♩, など
途中で方向転換し ← とも。

II. ⑤

$\begin{array}{ccc} \begin{array}{c} \uparrow \\ R \end{array} & \begin{array}{c} \leftarrow \\ L \end{array} & \begin{array}{c} \uparrow \\ R \end{array} \end{array}, \dots$

$\begin{array}{cc} J & H \\ & \uparrow \\ & \text{Kick} \end{array}$

$\left\{ \begin{array}{cc} R & L \\ \text{~~~~~} & \end{array} \right\}$
 $\rightarrow \begin{array}{cc} R & L \\ \text{ア} & \text{ハーシ} \\ \times & \times \\ \text{clap} & \text{clap} \end{array}$

II $\rightarrow$ III // $\begin{matrix} \uparrow & \uparrow & \uparrow & \uparrow \\ 9 & r & r & r \\ & st & st & kick \end{matrix}$ (x1)

III. R L, R l, r, i, r, R l, l, L, r, R L,)
 ④ Kick Kick Kick Kick Kick
 (R L R, L R L, L R L, v st.)

IV. $\begin{matrix} \text{L} \\ \downarrow \\ R \end{matrix}$, $\begin{matrix} \dot{x} \\ \downarrow \\ L \end{matrix}$, $\begin{matrix} \dot{R} \\ \downarrow \\ H \end{matrix}$ / $\begin{matrix} \dot{L} \\ \downarrow \\ H \end{matrix}$, $\begin{matrix} \dot{R} \\ \downarrow \\ H \end{matrix}$ / $\begin{matrix} \dot{L} \\ \downarrow \\ H \end{matrix}$

(M) (Y) having force

→ 上下動 on
ヒジヨリき

$\vec{R} \vec{L} \vec{R}, \vec{L} \vec{R} \vec{L}, \vec{R} \vec{L} \vec{R}, \vec{L}$

TVST
 $\begin{array}{c} \leftarrow R \rightarrow \\ \textcircled{V} \end{array}$
 $\begin{array}{c} \sigma \\ \downarrow \\ \textcircled{W} \end{array}$
 $\begin{array}{c} \uparrow \\ \textcircled{Y} \end{array}$
 (X)

V. $\begin{array}{c} \uparrow \\ \hline R \quad L \end{array} \begin{array}{c} \text{"} \\ \text{st} \\ \text{Kick} \end{array} \begin{array}{c} \downarrow \\ \hline R \quad L \end{array} \begin{array}{c} \downarrow \\ \hline R \quad L \end{array} \begin{array}{c} \updownarrow \\ \hline L \end{array} \left(\begin{array}{c} \text{Last} \uparrow \\ \hline R \quad L \end{array} \begin{array}{c} \text{"} \\ \text{st} \end{array} \right)$

・構成は自由に!!

I II III IV V II III IV V, I ~. 132" が - 例

2019.5.27
2021.3.13 直L

Dené

Hopa Hemşin 掛け声について

Komutçuと呼ばれるダンスのリーダーが踊りながら、(最近はマイクを持って輪の中でも多い)掛け声をかけ、(この地方のバグパイプ **Tulum(Guda)**等の)演奏者やダンサーを鼓舞する形態がよくみられる。踊りの動きを細かく指示するものもあるが、「さあ行くぞ」みたいな盛り上げフレーズも多い。パターンをいくつか挙げる。リーダーに続き、ダンサーも呼応する掛け声をかけ、場全体が盛り上がっていく。

1 踊りの開始・基本ステップの掛け声

◆ **Tulum dök aşağı** (トゥルム・ドク・アシャウ)

意味：トゥルムの音を(低く)響かせろ！ / さあ(腰を)落とせ！

動き：踊りの始まりの合図。その場で足踏みをしながら、膝を柔らかく使って上下にリズムを刻み始めます。

◆ **Siya, siya** (スィヤ、スィヤ)

意味：(船のオールを漕ぐように)下がれ、下がれ / あるいは足の滑りこみ

動き：右足を滑らせるようにしながら、連なって移動する基本のステップ時の掛け声です。

◆ **Savuş, savuş** (サヴシュ、サヴシュ)

意味：立ち去れ、すり抜けろ

動き：ステップを踏みながら円を横移動していく際によく使われます(「Siya siya, savuş savuş」と続けて言うことが多いです)。

2. 円の内側にアタックする(一番盛り上がる)掛け声

◆ **Vur içeri!** (ヴル・イチェリ) / **Bir, iki, üçtur vur içeri!** (ビル、イキ、ウチュトル・ヴル・イチェリ)

意味：中へ叩き込め！ / 1、2、3 で中に叩き込め！

動き：リーダーのこの声に合わせて、踊り手全員が右足を力強く地面に打ち付けながら(2～3 歩)円の内側へと踏み込みます。

◆ **Aha!** (アハ!) / **Hayde!** (ハイデ!)

意味：そら！ / 行くぞ！

動き：「Vur içeri」で足を力強く踏み鳴らす瞬間や、ジャンプする瞬間に、踊り手全員が息を合わせて大声で叫びます。この踏み鳴らしがあまりに激しいため、かつて結婚式で床が抜けたことから「Atom(原子爆弾)」という異名も持っています。

◆ **Şimdi çapçap!** (シムディ・チャプチャプ) / **Alkış!** (アルクシュ)

意味：さあ拍手だ！ / 拍手！

動き：体を左右にひねりながら、両手を力強く打ち鳴らします。

3. 移動や方向転換の掛け声

◆ Bas geri! (バス・ゲリ)

意味：後ろへ踏み込め！ / 下がれ！

動き：円の内側に攻め入ったあと、再び右足を滑らせるようにして元の円の大きさに戻る（下がる）動きをします。

◆ Üç git, üç gel (ウチュ・ギット、ウチュ・ゲル)

意味：3 歩行って、3 歩戻る

動き：テンポが少し落ち着いた部分などで、右に 3 歩、左に 3 歩とステップを踏む指示です。

◆ Şaşti uçalum beraber (シャシウトウ・ウチャルム・ベラベール)

意味：さあ、みんなと一緒に(鳥のように)飛び立とう！

動き：激しいステップやジャンプへと移行する際の、気持ちを高揚させる掛け声です。

4. その他、盛り上げ系の掛け声

◆ Gelsun mi? (黒海方言)

直訳：「(次の動き・激しいステップが)来てもいいか?」「行くぞ?!」

リーダー(コムツチュ)が踊り手やトゥルム奏者、あるいは観客に向かって「もっと激しいパートにいっちゃっていいかい?」「準備はいいか?!」と煽る(アジテートする)時に叫びます。

◇ コール&レスポンスの定番パターン

この掛け声は、リーダーの問いかけに対して周りが応じるコール&レスポンスの形をとることが多いです。

リーダー：Gelsun mi?! (ゲルスン・ミ?! = 行くぞ?!)

踊り手全員：Gelsun, gelsun! (ゲルスン、ゲルスン! = 来い、来い! / やったれ!)

この掛け合いの直後に、トゥルムの音が一段と激しくなり、全員で一斉に足を激しく踏み鳴らす「Vur içeri(中に叩き込め!)」や「Atom」と呼ばれる猛烈なステップへと突入します。踊り手がトランス状態のようにシンクロし、会場の熱気が最高潮に達したタイミングを見計らって、リーダーが「そろそろ爆発させるぞ?」と確認を入れる合図がこの言葉です。

◆ Biz dur, yaşa! (または方言の響き通り Bizdur, yaşa!)

言葉の意味:

Biz / Bizdur(ビズ / ビズドゥル):「俺たちだ」「これが俺たち(黒海人／ヘムシン人)だ」

Yaşa(ヤシャ):「万歳!」「生きろ!」「素晴らしいうちの文化よ、永遠なれ!」

つまり全体で、「これが俺たちだ、万歳!」「俺たちの文化よ、永遠に続け!」という意味になります。

◇ 踊りの中での役割とニュアンス

リーダー(コムツチュ)がステップの合間に「Biz dur!(これが俺たちだ!)」と叫ぶと、踊り手や観客がすかさず「Yaşa!(万歳! / やったれやったれ)」と応じたり、全員で「Biz dur yaşa!」と連呼して足を踏み鳴らします。

文化的なプライドの表現

ヘムシン人や黒海の人々は、自分たちのダンス(ホロン)や伝統楽器(トゥルムやケメンチェ)に対して非常に強い誇りを持っています。この掛け声は、単なるステップの合図というよりも、「俺たちの絆や文化は最高だ!」という喜びを全員で共有する瞬間に使われます。

◆ Geliyor, oyna! トルコ語綴り

言葉の意味:

Geliyor(ゲリヨル):「来るぞ!」「(波や激しいリズムが)押し寄せてくるぞ!」

Oyna(オйна):「踊れ!」「(体を)動かせ!」

全体で「さあ(見せ場が)来るぞ、踊れ!」という意味になります。

◇ 踊りの中での役割と動き

この掛け声は、踊りが次の「激しいパート」や「見せ場(ステップの変化)」へ移行する直前の助走タイミングで放たれます。

「次の一手」へのカウントダウン

リーダーが「Geliyor, geliyor...(来るぞ、来るぞ...)」と声を張ると、踊り手たちは「次はどんなステップが来るか」を察知し、身構えます。そして「Oyna!(踊れ!)」という声がかかった瞬間に、一斉に足を激しく踏み鳴らしたり、肩を細かく揺らす独特の激しい動き(ティトレメ)へ突入します。

◇ 「Geliyor oyna!」とセットで、リーダーは以下のような指示もよく飛ばします。

Geliyor dinle bak! (ゲリヨル・ディンレ・バク)

意味: 来るぞ、よく(トゥルムの音を)聞いて見ろ!

Gelecek sana da! (ゲレジェク・サナ・ダ)

意味: お前のところにも(順番が/波が)行くぞ!

Son geliyor! (ソン・ゲリヨル)

意味: ラスト(最後の波)が来るぞ!

◆ 「Aha!」または「ihahi!」

耳コピの「アハーン」は、現場では「Aha!(アハ!)」や、方言特有の節回しがついた「ihahi!(イハヒ! / イハーン!)」という叫び声です。

トルコ語綴り: Aha! / ihahi!

意味:「そら見ろ!」「それだ!」「ここだ!」

◇ 踊りでの役割:

激しいステップ(足を中心に踏み鳴らす瞬間など)に合わせて、感情が爆発して思わず出てしまう叫びです。「どうだ!」と自分のステップを誇示したり、周りをさらに乗せるために使わ

れます。

◆ 「Ahoy!」 または 「Oha!」

こちらはまさに「Ahoy!(アホイ!)」、または荒々しく「Oha!(オハ!)」と叫んでいます。

トルコ語綴り: Ahoy! / Oha!

意味: 「おーい!」「うおーっ!」(掛け声としての純粋な咆哮)

踊りでの役割:

ホロンのリーダー(コムツチュ)や男性の踊り手が、トゥルム(バグパイプ)の爆音に負けないよう、地鳴りのような太い声で吠えるときに使います。

これによって踊り手のトランス状態(一体感)がさらに深まり、ステップの力強さが増します。

これらの叫び声は、前に紹介した言葉と組み合わせあって、以下のようにリズムカルに連呼されます。

「Ahoy! Gelsun mi?!」(アホイ! 行くぞ?!)

「Aha! Vur içeri!」(アハ! 叩き込め!)

「İhahi! Biz dur, yaşa!」(イハーン! これが俺たちだ、万歳!)

ただの指示語ではなく、こうした荒々しくも美しい「叫び(Nida)」が入るからこそ、ヘムシン・ホロンは他の伝統舞踊と違って「野性味があって最高にカッコいい踊り」と言われています。

◆ Geliyor parti, oy!(ゲリヨル・パルティ、オイ!)

または Geliyor parti, oyna!

言葉の意味:

Geliyor(ゲリヨル): 来るぞ! / 押し寄せるぞ!

Parti(パルティ): 「一団」「(踊りの)グループ」「ひと波」

Oy / Oyna(オイ / オイナ): 「ああ!」「踊れ!」(感情の高ぶりを表す黒海特有の感嘆詞、または『踊れ』の略)

全体で、「俺たちのグループ(最高の波)が来るぞ、さあ踊れ!」という意味になります。

◇ 「Parti(パルティ)」の本当のニュアンス

黒海地方のホロンにおいて「Parti」は、単にお酒を飲んで騒ぐ集まり(Party)のことではなく、「今まさに肩を組んで、一つの生き物のようにシンクロして踊っているこの輪(チーム)」のことを指します。

「俺たちのチームの、一番激しい盛り上がりの波(パート)が押し寄せてくるぞ!」というニュアンスで、リーダー(コムツチュ)がメンバーの士気を限界まで高めるために叫びます。末尾の「Oy!」は、黒海地方の民謡の歌詞にも必ずと言っていいほど出てくる「哀愁と情熱が混ざった叫び声」です。

◆ Oyna, hi ha! (または Oyna, hi hay!)

Oyna, hi hu! (または Oyna, hi hü!)

言葉の意味:

Oyna(オイナ):「踊れ!」「(体を)動かせ!」

Hi ha / Hi hay(ヒ・ハ / ヒ・ハイ): 黒海地方のホロンで使われる、リズムを刻むための伝統的な叫び声(オノマトペ)。特に意味はありませんが、日本のお祭りという「ソイヤ!」や「ヨイショ!」のようなものです。

全体で「踊れ! ソリャ! ハッ!」という、純粋にステップの勢いを加速させるための掛け声になります。

2. 踊りの中での役割と「Hi ha」のタイミング

この「ヒ・ハ!」は、リーダー(コムツチュ)がただ叫ぶだけでなく、ドラムの打撃音やステップを踏む足音と完全にシンクロさせて放たれるのが特徴です。